



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表執行役社長 好本 達也
 お問合せ先 財務戦略統括部 IR推進部
 TEL 03-6895-0178

2022年5月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	5月度	3-5月累計	5月度	3-5月累計
百貨店事業	61.8	23.1	79.1 (81.5)	29.1 (30.5)
SC事業	9.0	▲4.8	44.3	16.7
デベロッパー事業	▲5.9	▲9.4	▲5.9	▲9.4
決済・金融事業	40.6	35.1	40.6	35.1
その他	▲6.7	▲16.0	▲1.4	▲13.4
連結合計	48.7	10.5	54.0	20.7

※注) 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
 2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業(パルコSC)」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています。
 3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
 4. 松坂屋豊田店は、2021年9月末日をもって営業を終了しました。百貨店事業の()内は、松坂屋豊田店の値を控除した増減率を示しております。
 5. 当社は、2021年6月30日付で㈱ヌーヴ・エイの全株式を譲渡しました。
 6. (株)大丸松坂屋百貨店は、2021年9月1日付で(株)大丸松坂屋セールスアソシエイツを吸収合併しました。
 7. 当社は、2022年2月28日付で㈱ディンプルの株式の90%を譲渡し、連結の範囲から除外しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 5月度の売上高は、前年の臨時休業の反動や入店客数の回復もあり、全店舗が前年実績を上回り、大丸松坂屋百貨店合計(既存店)では対前年86.0%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計(既存店)では同81.5%増となった。
- 商品別では、ラグジュアリーブランドや美術・宝飾品が好調であったほか、食料品もゴールデンウィークの帰省土産を中心に売上を伸ばした。
- 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高は対前年230.3%増(客数同219.0%増、客単価同3.6%増)であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の6月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、前年土曜日・日曜日に一部売場を除き臨時休業としたことによる反動増や、入店客数増加の影響により、14日までの累計で対前年28%増(対2019年▲10%減)、国内売上高は同28%増(対2019年▲1%減)で推移している。また免税売上は対前年70%増(対2019年▲87%減)で推移している。

2) SC事業

- 2021年6月30日付で(株)ヌーヴ・エイの全株式を譲渡したことによるマイナス影響があったものの、パルコ店舗の売上収益が前年を大幅に上回ったことにより、トータルで増収となった。
- パルコ店舗テナント取扱高は、前月に引き続き消費者の行動自粛ムードが改善され、ゴールデンウィーク期間のイベントや催し物の開催に伴う人出の増加が好影響となり、また、前年の緊急事態宣言による首都圏店舗を中心とした一部店舗の休業や、自治体からの要請に伴う営業時間短縮の反動もあり、全店計で前年に比べ大幅に伸長した。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、パルコスペースシステムズが増収となったものの、J.フロント建装が前年の大口工場の反動により減収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、百貨店の売上回復を主因として、大幅増収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業が主力の電子デバイスの不振により減収となり、トータルでも減収となった。

【お問合せ先】 J.フロント リテイリング株式会社
 ・ IR推進部 TEL 03-6895-0178
 ・ グループ広報推進部 TEL 03-6895-0172

2022年5月度 百貨店事業 営業報告(日本基準)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	5月度		3-5月累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	226.3	214.8	56.0	58.6
大丸 梅田店	303.0	161.4	57.0	46.7
大丸 東京店	147.5	128.2	50.8	57.7
大丸 京都店	71.4	70.8	23.8	26.8
大丸 神戸店	106.2	97.1	43.9	35.7
大丸 須磨店	14.3	34.0	▲1.3	14.7
大丸 芦屋店	7.8	23.4	4.3	12.9
大丸 札幌店	84.6	83.8	29.8	29.7
大丸 下関店	5.4	10.8	▲4.2	▲1.4
松坂屋 名古屋店	39.5	37.9	16.1	13.9
松坂屋 上野店	78.4	83.3	23.0	36.0
松坂屋 静岡店	23.7	50.3	9.4	24.3
松坂屋 高槻店	83.2	124.6	26.9	55.9
店 計	86.0	85.6	30.1	32.8
既存店計	89.0	89.9	31.8	35.1
法人・本社等	46.0	-	35.4	-
大丸松坂屋百貨店合計	83.3	85.6	30.4	32.8
うち商品売上高	85.7	-	30.8	-
うち不動産賃貸収入	38.4	-	22.2	-
既存店計	86.0	89.9	32.0	35.1
博多大丸	54.7	68.5	20.6	27.7
高知大丸	6.5	20.8	0.6	14.1
百貨店事業合計	79.1	83.4	29.1	32.3
既存店計	81.5	87.3	30.5	34.4

※注) 1. 松坂屋豊田店は、2021年9月末日をもって営業を終了しました。
2. 既存店計には、松坂屋豊田店の前年実績値を含みません。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	5月度	3-5月累計
紳士服・洋品	110.9	34.0
婦人服・洋品	134.5	48.9
子供服・洋品	73.4	15.0
その他の衣料品	89.1	31.0
衣料品計	128.3	45.3
身 回 品	210.2	44.4
化粧品	46.5	15.7
美術・宝飾・貴金属	83.1	29.2
その他雑貨	82.3	18.1
雑 貨 計	66.0	22.4
家具	95.6	18.2
家電	23.0	6.6
その他の家庭用品	56.1	3.7
家庭用品計	63.9	7.1
生 鮮	▲1.1	▲6.1
菓 子	54.7	22.5
惣 菜	32.3	15.5
その他食料品	17.8	5.7
食料品計	29.4	12.3
食堂・喫茶	255.2	64.9
サービス	106.6	46.4
そ の 他	10.3	12.7
合 計	85.7	30.8

3. 営業概況

・婦人服・洋品は、ジャケット、ブラウスが好調であったほか、ラグジュアリーブランドも好調を持続した。紳士服・洋品では、スポーツ・ゴルフ用品やスーツがほぼ19年度並の売上まで回復した。雑貨では宝飾品が、高級時計を中心に好調に推移した。食料品では、菓子がゴールデンウィークでの帰省を中心としたおみやげ需要により、大きく伸ばした。

2022年5月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	5月度	3-5月累計
札幌PARCO	50.2	12.4
仙台PARCO	35.1	25.7
新所沢PARCO	▲7.1	▲6.9
浦和PARCO	8.5	4.9
池袋PARCO	104.9	47.0
PARCO_ya上野	243.9	59.2
ひばりが丘PARCO	53.5	22.7
吉祥寺PARCO	84.2	29.1
渋谷PARCO	112.0	62.6
錦糸町PARCO	103.3	38.9
調布PARCO	57.3	25.5
津田沼PARCO	▲3.5	▲7.9
松本PARCO	▲5.3	▲7.3
静岡PARCO	4.9	1.4
名古屋PARCO	45.1	18.0
心斎橋PARCO	534.1	56.7
広島PARCO	59.6	13.8
福岡PARCO	33.4	11.5
全店計	50.3	21.3

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	5月度	3-5月累計
衣料品	51.3	21.5
身回品	56.7	22.0
雑貨	40.4	18.8
食品	12.0	5.9
飲食	110.9	42.5
その他	59.4	23.5
合計	50.3	21.3

3. 営業概況

- 5月は、前月に引き続き消費者の行動自粛ムードが改善され、ゴールデンウィーク期間のイベントや催し物の開催に伴う人出の増加が好影響となり、また、前年の緊急事態宣言による首都圏店舗を中心とした一部店舗の休業や、自治体からの要請に伴う営業時間短縮の反動もあり、全店計で前年に比べ大幅に伸長。
- アイテム別では、前年に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業の制限を受けていた反動などで特に飲食が前月に引き続き好調に推移したほか、人出の増加によりテイクアウト食品や輸入食品などが売れたことで、食品が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2019年度も上回り好調。映画もヒット作に恵まれ好調だったなど、全てのアイテムで大きく前年を上回った。